

東日本大震災復興支援のご協力ありがとうございます



会員・読者のみなさんから寄せられた募金は 38万9,507円(2011.4.15現在)

東日本大震災復興支援

頑張れ東北・頑張れ日本



2011年4月9日、市民のみなさんから寄せられた被災地支援物資を載せた2トントラックが4月9日中小企業会館から福島市へ向けて出発しました。引き続きご支援を宜しくお願い致します。

支援物資も続々と…支援物資一覧(第1陣)

足用カイロ40個入り20箱	カイロ24個入り9箱
単三電池100個入り6箱	ハンドジェル24個入り10箱
ウエットシート48個入り10箱	毛布16枚
子供紙パンツ2箱	大人紙パンツ5箱
トイレットペーパー 4箱	紳士下着 2箱 婦人服 1箱
婦人下着1箱	紳士服1箱 子供服 1箱
くつ 2箱	靴下 1箱 タオル 2箱
生理用品 2箱	じゃがいも他食品 6箱
石鹸 1箱	ベビー用品1箱
米5kgパック 21箱	ひやむぎ2箱
ペット飲料3箱	コンロ用ガス15本 雑貨3箱

東日本大震災復興支援の募金箱設置店は65店舗に

復興支援災害募金を呼びかける「募金箱設置店」はその後も増え65店舗になりました。お立ち寄りの際は「お互い頑張りましょう」の声かけをしましょう。



募金設置店のみなさんへ

4月30日で第1次の集計を行います。募金は民商事務所・役員・事務局までお届け下さるかご連絡下さい

ゴルフ仲間もチャリティ10万円



4/5日行われた「坂戸民商ゴルフコンペ」では支援チャリティを実施。支援募金は10万円近く集まりました。この募金は坂戸市役所を通じて日本赤十字に「義援金」として送られます。

お店でもチャリティ

4/10日に行われたスナック「なごみ」のゴルフコンペ。表彰式のあとママから募金のお願いをしたところ参加者から15,000円の支援募金が寄せられました。

全国の民商

■全商連が岩手、宮城、福島3県に義援金届ける

全商連は7日、8日にかけて、三役が手分けして岩手、宮城、福島の各県庁を訪問。全国から寄せられた支援募金から各200万円を義援金として届け激励しました。

■副知事に営業再建への支援求める 宮城

7日夕、宮城県庁には全商連の国分会長、岡崎事務局長、宮城県連の伊藤会長、永沢事務局長、池原婦人部長、仙台民商の木村会長が訪問。県側は若生副知事が対応しました。国分会長は、「中小業者や漁業者は地域に密着して仕事し、地元の資源とつながりを生かして物をつくり、流通させ、雇用を維持し、地域経済を支えてきた。地域の復興なしに中小業者・漁業者の復興はない。逆に言えば、地元の中小業者・漁業者の復興なしに地域は復興しない。だからこそ、地域の復旧・復興のカナメに地元中小業者を位置づける必要がある」と中小業者の経営の再開を支える施策として、①被災者の住宅確保とあわせ、中小業者の店舗・工場への直接支援の実現②休業補償制度や債務免除の特別措置の実施やあらゆる公的支援の拡充③復旧・復興に必要な公共工事の地元発注の徹底④仮設住宅の建設などに地元建設業者、漁に出ることができない漁業者や養殖業者、また、その従事者が携われるようにすること⑤借金の上に借金を抱え込ませるのではなく、被災前の負債は棒引き(免除)するなど、『ゼロからの再建』を可能にする施策の実施⑥復興計画は地域住民・中小業者の合意を原則にすることなどを求めました。8日には、岩手県庁に全商連の鎌田副会長が、福島県庁には全商連の西村副会長が訪問しました。